

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

お客様の事業活動のサステナビリティに寄与し、社会全体の価値向上を図る

営業利益率
6%程度ROE
10%程度海外売上高
35億円1株配当金下限
40円

② 中長期の経営戦略

1. 建物設備メンテナンス事業の安定拡大

お客様の事業価値向上に貢献する高い技術力とサービス力を「日本空調ブランド」と位置付け、契約更新・拡大と新規顧客獲得を推進

3. 特殊施設への傾注強化

病院・研究施設・製造工場等の特殊な環境を有する施設への対応を拡充。売上高比率7：3を目安に展開

2. 人的資本の価値向上

2024年11月竣工の技術・研修センターで、クリーンルーム等の現場を再現した研修環境を整備。新入社員から既存社員まで総合的なスキルアップを実施

4. 省エネ・脱炭素への貢献

お客様の温室効果ガス排出量削減（年間10,000t-CO2以上）を目指す省エネ提案を強化。太陽光発電事業でもアプローチ強化

③ 対処すべき課題

① 従業員のパフォーマンス最大化

- 社員エンゲージメントスコア70pt以上維持を目指す
- コア技術力指数CAGR3%以上達成が必要

② 経営環境の不確実性への対応

- 国際情勢不安定化・物価上昇への対応が必要
- お客様の設備投資計画変動への依存を軽減する必要

③ コンプライアンス・ガバナンス強化

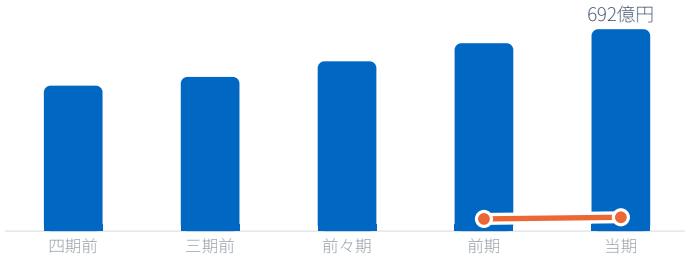
- 内部統制システムの継続的な整備・運用充実
- リスク管理体制と社内管理体制の強化に取り組む

面接で使えるポイント

- 建物設備メンテナンス業界で『リーダー』を目指し、パーパス『いき、続けるために。』で人々の生きるを支える企業
- 2024年11月竣工の技術・研修センターで従業員のスキルアップを加速し、人的資本の価値向上に注力
- 2024中期5ヵ年計画で海外売上高35億円達成、ROE10%程度維持を通じた企業価値拡大を推進

証券コード 4658

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
692億円営業利益率
6.9%財務健康度
54点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 53.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
724万円

サービス業内 104位/524社

平均年齢
40.2歳

サービス業内 192位/527社

平均勤続
14.3年

サービス業内 48位/527社

女性管理職
5.9%

サービス業内 324位/371社

男性育休
59.3%

サービス業内 213位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース十一言

参考: 日本空調サービス(株)【4658】：決算情報

